

つくし園だより

新年のつし挨拶



新年あけましておめでとうございます。保護者様・関係各位の皆様には、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。日頃より当施設へのご理解、ご支援を賜り心より感謝申し上げます。

昨年は、元日に石川県・能登半島で大震災が発生し、多くの方が犠牲になりました。新年の幕開けとしては信じがたい出来事であり、今もなお復旧が進まず被災された方々は不自由な生活をなされている事と 생각합니다。謹んでお悔やみとお見舞い申し上げます。

そのような中、10月22日～24日で全国児童養護施設長研究協議会が石川県で開催されました。会場は金沢市であった為、大地震が発生したとは思えない程、人々も通常に過ごしていると感じました。しかし、被災地である能登半島からスタッフとして来て下さっていた職員の方の話では、本当に悲惨な状況であったという事と現在も不自由は続いているとお聞きしました。そのような状況の中で全国大会を開催して下さり、開会の挨拶でもむしろ来て頂く事が復旧の手助けと励みになるとおっしゃって下さりました。私が逆の立場であったらそのように考えられるかと頭が下がる思いでした。関係各位・スタッフの方々に改めてお礼申し上げます。「ありがとうございました。」

当施設においては、小規模化に向けた取り組みで4月から定員数を10名減の60名としました。7月には、職員の同窓会を開催する事が出来、現職含め40名が出席して下さい、故・広瀬清蔵元施設長



第168号
2025年
1月1日
発行

発行
児童養護施設
黒松内つくし園
発行人 藤田 剛
〒048-0101
黒松内町字
黒松内 562-1
TEL
0136-72-3033
FAX
0136-72-4066

この出来事や当時の思い出話に花を咲かせました。その後も日常はあわただしく過ぎて行きましたが大きな事故もなく、お陰様で65名の児童と37名の職員が無事に新年を迎える事が出来ました。

本年は巳年です。蛇という苦手な人が多いかもしれませんが、日本や中国のみならず、インドでも神聖なものとして扱われてきました。あまり手が掛からない事からペットとして飼う方もいます。私もその昔に娘が4、5歳の頃に生き物全般が好きで蛇をブナセンターから連れて来て2週間ほど家でシマヘビを飼っていた(置いていた?)事がありました。だが、ペットで飼う方の気持ちは理解できません。上では縁起の良い生き物と考えられています。神様の絵や神社の境内などに蛇のモチーフが多いのはその為です。また、ご存知の人も多いと思いますが、神の使い・弁財天の化身と信仰され蛇の皮を財布に入れておくと金運がアップすると言われています。その他にも脱皮を繰り返す事やしばらく食べなくても生きていけること等から強い生命力・豊穡、そして巳年には一つの時代が終わわり、新しい時代が始まる新生という意味もあり、新しい事柄を始めるのに最適な年だそうです。

今年、前述のとおり新しい事への挑戦にふさわしい年である事からも子ども達には新しい事に挑戦して欲しいと思います。子ども達は何事にも挑戦していきけるように職員一同で取り組み、子ども達を支えていきます。また子ども達の笑顔が絶えない施設運営に心掛けてまいりますのでご家族様や関係者皆様のご理解とご支援を心からお願ひ申し上げます。

今年一年が皆様にとりまして縁起の良い一年になりますよう心からご祈念申し上げます。年頭の挨拶と致します。

クリスマスケーキ寄贈



12月25日、サンタさんとトナカイさんが来園し、70個のケーキとお菓子を届けてくれました。贈り主は、株式会社上田商会(本社登別市)に勤める卒園生の滝吉正人さん(平成17年3月卒園)と、同社代表取締役社長 上田朗大様です。



滝吉さんは3歳から18歳までを当園で過ごしました。クリスマスにはわかさいも本舗に勤める卒園生の館洞勝雄さん(昭和40年3月卒園)が一人にひとつずつ手作りケーキを届けてくれ、それを



とても楽しみにしていたそうです。しかし平成27年、館洞さんの退職を機に、43年間続いたケーキの寄贈が終わりました。そのことを滝吉さんが上田社長に話したところ、令和元年からは上田商会がケーキを贈って下さるようになります。今年で6回目となります。幼児と小学生はサンタさん

からお菓子を受け取り大喜びでした。小学生は「サンタさんが届けてくれたケーキはとってもおいしかったです。」と話してくれました。

クリスマス会



12月21日、クリスマス会が行われました。大代理事長をはじめ法人関係の方々、小・中学校の先生方など50名以上の来賓にお越しいただきました。



セレモニーでは、キャンドル隊の子ども達がテーブルのろうそくに火をともし、ついでに「きらきら星」の歌を披露しました。来賓挨拶などの後はサンタさんが登場、トナカイの運んできたプレゼントの大箱から飛び出し、会場を驚かせました。



続く祝会では、グループの有志が歌やダンス、クイズなどを発表しました。中でも、3月に卒園を予定する高校生が職員のギター演奏に合わせて熱唱し、担任に感謝の言葉を述べると、会場からは熱い拍手が沸き起こりました。



した。ビンゴ大会を挟み、最後は職員企画、来賓にもご参加いただき、会場を一周する『きらきら星』の輪唱で会を締めくくりました。参加した小学生は「ビンゴ大会でお菓子をもらいました。生チラシやからあげ、ケーキなどおいしいものをたくさん食べました。」と笑顔で話してくれました。

年末の行事



職員と子ども達で新年を迎える準備をしました。12月25、28日、交流スペース、男女お風呂場、食堂、玄関の大掃除を行いました。きれいにしました。28日はもちつきが行われ、つきたてのおもちをみんなでおきました。29日、まゆ玉飾りを作り、玄関ホールと食堂に飾りました。



つくし園の1月の予定

- ◆ 1日 元旦、集会
- ◆ 2日 書初め
- ◆ 7日 女子外出
- ◆ 8日 中2西予市訪問（～11日）、幼児外出
- ◆ 9日 男子小学生外出
- ◆ 11日 すきな外出
- ◆ 12日 一時帰省終了、男子中高生外出
- ◆ 13日 成人の日
- ◆ 14日 今金高養始業式
- ◆ 16日 黒・白中始業式、二高全校集会
- ◆ 17日 蘭高・寿高始業式
- ◆ 20日 子ども園・黒・白小始業式
- ◆ 21日 分校始業式
- ◆ 22日 寿高2年スキー授業、黒中3年学年末テスト（～23日）
- ◆ 23日 白小書初め
- ◆ 24日 分校身体測定、白小スキー学習
- ◆ 25日 白小ふれあいカルタ会、二セコスキーツアー
- ◆ 27日 白小振休
- ◆ 28日 寿高2年スキー授業
- ◆ 31日 黒中新入生体験入学、子ども園誕生会
高等養護学校入試

ご厚志に心より感謝申し上げます。(R6.11.26～12.25)
 <ご寄贈> 細川司、トドック、全国シャンメリー協同組合、ほっともっと、24時間テレビチャリティー委員会、日本鏡餅組合、北海道コカ・コーラボトリング株式会社、イオン北海道労働組合、広尾町『こどもの夢を応援するプロジェクト』、黒松内保育園、北洋銀行、株式会社サンリオ、広尾町北方圏交流振興会、白井川小学校、白井川中学校、公益財団法人毎日新聞東京社会事業団、黒松内小学校、黒松内中学校、上田商会、小樽BBS会、日本出版販売株式会社 代表取締役 奥村景二、(株)セコマ、北海道漁業協同組合連合会、株式会社ホクビー代表取締役瀧澤克則
 <ご寄付> 北海道新聞社会福祉振興基金、小間旅館、高野秀樹、遠藤健次、鈴木晶子、櫻井智恵 ※敬称略
 常勤役職員からのご厚志については、お名前を控えさせていただきます。

編集後記

新年明けましておめでとうございます。昨年は大変お世話になりました。あっという間に一年が過ぎてしまいました。今年も子ども達が安心、安全に生活できるよう、職員一同で支援してまいりますのでよろしくお願いいたします。新しい年がみなさんにとって素晴らしいものになりますようお祈り申し上げます。
 瀬尾 康志